

## ■2021 年度東海支部研究集会シンポジウム

### 建築を取り巻く関係性の再構築 — 素材と人材からみた新たなデザイン —

建築 CPD2 単位  
認定プログラム  
(申請中)

#### 趣旨：

建築はいま、転換点にあるのではないか。

21 世紀は、効率的な生産・消費を是とし、生産性を求めて人口を都市へと集中させてきた。多くの建造物を建設し、そして廃棄してきた建築分野も、ある種の共闘関係にあったといえよう。一方で、成長を続けてきた世界経済が、喫緊の課題である気候変動や SDGs に代表される地球環境課題への対応に迫られているように、社会は大きく変化している。

そんな変化の兆しは、建築を作る過程や出来上がった後の試みに確認できる。既存の施工システムとは異なるあり方を模索している例があれば、設計者の職能を超えて企画から運営までに挑戦する建築家もいる。建築物を構成するにあたり、素材自体を生み出す試みをするものもいる。

本シンポジウムで議論する様々な実践活動は、多様な解決策が求められている現代において鑑みるべき示唆に富むものであろう。

**主催：**東海支部設計計画委員会

**日時：**2022 年 2 月 21 日（月）午後（13 時～15 時）

**場所：**名古屋市立大学

**参加費／申し込み：**無料／事前申し込み必要

#### プログラム：

司会 秋田美穂（愛知産業大学）

13:00 【開会】支部長あいさつ

13:00～13:05 主旨説明 谷田真（名城大学）

テーマ説明（各 25 分）

13:05～13:30 「dot architects のデザイン」家成俊勝（dot architects）

13:30～13:55 「地域の木と土を活かした建築と教育の試み」宇野勇治（愛知産業大学）

13:55～14:20 「地域と、建築と、建築陶器に携わること」水野太史（水野製陶園ラボ）

14:20～14:25 休憩

14:25～14:55 ディスカッション：コーディネーター 佐藤布武（名城大学）

14:55～15:00 まとめ 谷田真（名城大学）

15:00 【閉会】